

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 1月 23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100579		
法人名	有限会社百樹		
事業所名	グループホーム百樹		
所在地	〒734-0053 広島市南区青崎2丁目15-2 (電話)082-236-1527		
自己評価作成日	令和4年12月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100579-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年1月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的な雰囲気大切に、効率よりもご利用者様一人ひとりの声に耳を傾けることを大切に、寄り添う介護を行っております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム百樹の工夫している点は、運営推進会議を活用したサービスの向上と、利用者一人ひとりを尊重した対応への取り組みである。運営推進会議では、コロナ禍の影響を受け書面で開催しているが、詳細な事故報告や身体拘束廃止委員会で検討した事故の再発防止策について公表しており、活発な意見交換の場として、参加者の意見を取り入れサービス向上に繋げる場として活用している。加齢や疾病により利用者ができない事は、年々増えていくが、職員が何でも手を貸すのではなく、利用者一人ひとりができる事、できない事を判断し自らの能力を活かして自立支援を行う介護が実践できるように研修を行い、職員に周知して取り組んでいる。</p>

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念をフロアーに掲示し内容を理解・共有し、支援に取り組んでいます。	管理者が日々、業務の中で理念を分かりやすく職員に伝えて共有し、理解した上で実践できるように工夫している。職員から利用者に言葉をかける際に、利用者を尊重した言葉使いを意識し取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	以前はお祭りに参加したり、保育園に交流に出かけたり保育園から来て頂いたりしていたが、コロナ禍以降直接的な関りは控えています。保育園より敬老の日利用者様宛にプレゼントが届く等繋がりを持っています。職員は地域の清掃活動等に参加して、挨拶を行っています。	法人が認知症カフェ開催に関わり、場所を提供するとともに、利用者も参加し地域の方と交流する機会になっている。地域の清掃は職員が事業所を代表して参加し、保育園には管理者が電話で感謝の言葉を伝えるなど、これまで築いてきた関係が途切れないように努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通じて認知症の理解を深め、支援の内容についてお話させて頂き質問にも応じています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回の運営推進会議ですが、コロナ禍のため開催できない月に関しては書式にてグループホームでの生活を報告し、事故やヒヤリハットまた、行ったイベント等についてご意見を頂いて、サービスの向上に活かしております。	コロナ禍の影響を受けて、書面開催が主となっている。書面開催の場合は、参加者に書類を送付して意見を聞き取り集約して配布している。参加者全員から意見を聞き取るように取り組んでおり、参加者からの忌憚ない意見や提案を取り入れ、利用者の見守りを強化した実例がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの職員様に出席をお願いし、開催出来ない回についてはFAXにてやり取りしております。民生委員・町内会役員の方にもご意見を伺っております。	2圏域の地域包括支援センターと認知症カフェや認知症アドバイザーに関する情報を共有し連携している。生活課担当者の訪問面談が行われ、有事の際は連絡を取り合っている。市の担当者へは、事故報告や、感染症に関すること、加算について問い合わせや確認を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を3ヶ月に一回行い、その内容を職員に周知する事と、社内研修を年2回行い理解を深めるよう指導し、身体拘束は行っておりません。玄関の鍵は夜間は防犯の為施錠しております。	市が主催する集団指導を受けた職員が、資料をもとに事業所内で伝達研修を実施し、身体拘束廃止委員会では、事故報告と検討した再発防止策を運営推進会議で報告している。転倒予防の為に見守りを強化し、利用者の行動に職員が付き添う事で、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者のお宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待についても身体拘束と共に理解を深めるよう研修を行っております。市で行われる研修にも参加し内容を職員に周知し、グレーゾーンと思われる不適切ケアについても行わないよう虐待の防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	後見人制度を利用されているご利用者様もいらっしゃる為、後見人の方とご本人の支援に関して相談等行っております。研修の機会を持ち制度について学んでいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時のご利用者様・ご家族様に重要事項説明書の内容について説明させて頂き、ご不明な点等ございましたら質問に応じご理解・納得できるよう努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	現在面会を制限せざるを得ない状況の為ご家族と直接顔を合わせてお話する機会は減っておりますが、お電話にて話をさせていただき、その際ご要望があれば出来るだけお答えさせていただいております。	利用者が発する意見は生活の中で担当職員が聞き取り把握している。利用者の誕生日に事業所を訪問した家族に職員から積極的に意見を聞き取る取り組みや、計画変更時に要望を確認している。現時点では運営に関する意見よりも個人的な要望に応えることが多くなっている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常的に発言しやすい環境にあり、申し送り時や会議の折に職員の意見交換を行い、サービスに反映できるようにしております。</p>	<p>管理者と職員間、職員同士でお互いの意見を否定せず耳を傾け、受け入れる環境を構築している。利用者の生活上の問題となっている課題解決に向けた意見や、日常生活動作の向上を目的とした機器を購入したことで、サービスの向上に繋げる取り組みを行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的な自己目標の設定や自己評価を行い、勤務査定に繋げております。職場環境についても職員会議等の場で意見を交わし見直しを行っております。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>現在外部研修を受けるのが難しい状況ですが、社内では毎月研修を行い、知識と技術の習得に努めております。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>研修等に参加した折は、同業者と交流を深め、情報や意見の交換を行っております。同一法人の事業所とは交流を持ち、意見の交換を行っております。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>相談や見学に来られた際や、事前面談の折にご本人・ご家族様の不安や要望を伺い、入居後も施設での生活に慣れるまで様子に注意しケアプランに反映させていただいております。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面談時に話を伺い、介護の方針について相談の上決めさせていただいております。入居後も変化があればすぐにご連絡させて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族よりしっかり話を伺い、状態を見極め、ニーズを掘り起こしケアの方針を協議の上決めさせて頂いております。ご本人の変化に合わせた柔軟な対応を心がけております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員と一緒に家事をする等、日々の暮らしを通じて一緒に笑いあえる関係を築いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御利用者様に変化があった時はご家族様に連絡を取り、協力を仰ぎ共にご利用者様を支援するよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様・ご家族様の要望をお伺いし、出来るだけ意向に沿えるよう、施設で対応できる事に関しては柔軟な対応をさせて頂いております。手紙のお取次ぎやご家族様からの電話のお取次ぎは行っておりますが、現在面会はコロナ禍の為制限させて頂いております。	現在は、面会の制限を設けている。以前は電話回線の数に限りがあることから取り次ぎは行っていなかったが、家族から電話があった場合は、職員から家族へ積極的に声をかけて、話ができるように努めている。通院時は、家族と病院で待ち合わせ短時間でも会える機会を作っている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士で良好な関係が作れるよう、色々イベントの企画を立てて、利用者様同士が協力して行ったり、顔なじみになれるよう工夫しております。リビングでの席についても相性等考慮して提供しております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後もいつでも相談に応じる事をお伝えし、必要時の相談や支援に努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御利用者様との相性を考慮し担当職員を決めさせて頂き、しっかりと寄り添い、希望や意見を伺える関係づくりに努めております。ご本人が意見を言える状態ではない時は表情等から出来るだけ本人の希望を読み取るよう努めております。	利用者の思いや意向は、アセスメントからの抽出と、担当職員が日頃の関りから把握した情報を他の職員と共有している。表出が困難な場合は、利用者の表情や機嫌、全体的な雰囲気から読み取り、他の職員の意見も取り入れながら課題解決を試み、反応を見ながら適宜変更を繰り返している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面談時に入居以前のご生活についてお伺いし、これまでの経過の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のご本人との関わりの中で、小さな変化にも対応できるよう会議や申し送りを通して職員間での情報共有を行っております。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメント時にご本人・ご家族と話をあわせて意見やご要望を確認し、必要と思われる事はケアプランに反映させていただいております。</p>	<p>計画は半年又は、状態に大きな変化があった場合に見直しを行っている。計画作成前に担当職員を中心として関係者からの意見を聞き取り計画に反映している。他者との交流が難しい利用者には、職員が利用者間を仲介し円滑な交流ができるようにケアプランを作成した実例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や変化等は記録に残し職員間での情報の共有を行い、問題点は話し合い、より良い介護を行うよう努力しております。また、計画の評価・見直しに活かしております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人としっかりコミュニケーションを取り、ご本人のニーズに出来るだけ柔軟に対応するようサービスの提案をさせて頂いております。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍以前はボランティアの受け入れを行ったり、地域のお祭りや運動会等イベントに参加させて頂いていた。現在はご利用者様の安全を第一に考え外部との接触は極力控えさせて頂いております。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前の面談時に医療について話し合い、ご本人様・ご家族様の意向に沿う医療を受けられるよう支援しております。連携している内科の往診、また希望により皮膚科・歯科等の往診を受ける事ができる体制を取っております。</p>	<p>利用開始時にかかりつけ医について説明し、利用者、家族が希望した医師の診察を受けている。内科、歯科、皮膚科の訪問診療が受けられ、専門医の受診は、職員が付き添い普段の様子や必要な情報を提供している。入院時は看護師が文書を作成し、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1度訪問看護ステーションより看護師が訪問し、バイタル測定と相談を行い、ご利用者の健康状態の把握に努めております。看護師とよりドクターへの報告連携を行いドクターより指示書が出た場合、週1回に限らず訪問が行われます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはドクターの紹介状と施設より情報提供を行い治療に支障の出る事の無いよう努めております。状況に合わせて病院にも伺わせていただきます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前の事前面談時に重度化への指針や緊急時の体制等についてお話させて頂いております。終末期には再度ご家族様の意向を確認し、意思を尊重し、職員一同で統一した支援を行います。	利用契約時に看取りについて意向を確認し、いつでも意向は変えられる事を伝えている。重度化した場合は、状況により主治医から詳細を伝え、今後の方針を個別に検討している。これまでも看取りを行った経験があり、必要な知識や技術は訪問看護師と連携しながら支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	年1回は必ず緊急時の対応について研修を行い、事故が起きた時は事故委員会を開き、原因・今後の対応について話し合いを行い、再発の防止に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的防災訓練を行い、消防署にも依頼し訓練指導を行っております。	火災想定避難救出訓練と、新たに津波を想定した訓練も実施している。災害時の備蓄は法人が管理しており、法人の他事業所と協力体制を整備している。日頃から代表者が地域の方へ災害時の避難場所として事業所を活用してもらうよう、運営推進会議で伝え協力体制を構築している。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様への声掛けは尊敬の念を持って対応しています。接遇マナーについての研修を行い、職員同士でも注意しあえる環境を作るようにしています。	接遇、コンプライアンス研修を実施し、知識を正しく習得できる機会を設けている。言葉かけについては、年長者であり、お客様であることを忘れず、敬意をもって接するように努めている。利用者個人の時間も尊重し、危険のない範囲で一人の時間が持てるように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の気持ちを押し付ける事の無いよう注意し、声掛けに気を配りながらご本人様の意向を引き出せるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員のペースではなくその方に寄り添った支援が出来るよう、ご入居者様の希望や思い、その日の体調等を考慮しながら支援するよう心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日に着たい服や髪形などをご本人様に決めて頂き介助が必要な方はその希望に沿って職員が対応しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しく落ち着いて食事がとれるように食事中は音楽をかけたり席の配置を考えたりと環境に気を配っています。片付けなどは台拭き、トレイ拭き等、安全に考慮しながら無理のない範囲で職員と一緒にを行っています。	昼、夕食は業者から調理されたおかずが届き、炊飯と汁物、朝食は毎食手作りしている。毎月の行事食では、利用者から聞き取った食べたいものを献立に反映させ、利用者が下ごしらえや調理に参加している。中庭で収穫した野菜や、地域の方が差し入れてくれた果物を食卓に加えている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	食事はご本人様の状態に合わせて刻みや おかゆなどの食べやすい形態にして提供 させていただいております。食事時や10 時、3時のお茶の時間以外にも声掛けし 出来るだけ水分を摂ってもらえるよう支 援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを全員行っています。 ご本人の状態に合わせながら、確認、介 助をしています。又、必要時は訪問歯科 を受けて頂き口腔内の清潔に気を付けて います。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	自立での排泄を目指す為、個々の排泄パ ターンを知り個人に合わせてトイレ誘導 の声掛け、対応をしています。排泄介助 の後は臭いが残らない様に気を付け、失 敗した際も自尊心を傷つけないよう気を 付け対応しています。	立位を取ることが難しい又は、拒否の強 い利用者を除いて、日中はトイレで排泄 ができるよう働きかけている。個々の排 泄間隔を観察して早めに声をかける事で 失敗を減らす工夫をしている。夜間、ト イレに行けるのに行かない利用者はポー タブルトイレを活用することで自立を促 している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	日頃から水分摂取や体操、散歩等身体を 動かす時間を作り便秘の予防に努めてい ます。又、個々の排便パターンを理解 し、トイレ誘導、腹部マッサージ等行っ ています。どうしても便秘がちな方は、 ドクターに相談し個別に対応させて頂き ます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	基本入浴日は設定していますが、順番や 時間などなるべくご利用者様の希望に 沿って対応しています。	現在は希望がないが、職員は男性と女性 がバランス良く在籍しており、希望によ り同性介助の対応が可能である。冬期は 予備暖房をして、温かく入浴ができるよ うに配慮している。週に2回の入浴を基 本としているが、夏期は個々の皮膚状態 に応じてシャワー浴を追加する場合があ る。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	居室内の温度、明るさ、寝具等環境に気を配っています。夜間良眠出来るよう、日中は体操やゲーム・アカペラ等行い活動的に過ごして頂いております。昼食後には夜間の睡眠に響かない程度にお昼寝の時間を設けて休息の時間を取って頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の処方に変化があった時は職員にも伝えご本人の変化の把握に努めるようにしています。お薬情報もファイルしすぐに確認できるようにしてあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々の関わりの中で、ご利用者様が好きな事、出来る事を見つけ、役割を持って生活出来るよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	以前は出来るだけご利用者様のご希望に沿えるように短時間であっても外出の機会を設けておりましたが、現在ご利用者様の安全を第一に考え必要な受診以外の外出は控えさせて頂いております。	感染症予防の観点から、積極的な外出は控えているが、日常的に法人が運営する複合施設の中庭で育てている野菜を見たり、天気の良い日には少人数で敷地内を歩いて外気浴を行っている。通院の行き帰りにドライブをしたり、コンビニに立ち寄りコーヒーを飲む等の支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居時に金銭管理についての説明をご本人・ご家族様に行っています。入居者様に合った方法での支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があれば対応しております。家族から手紙が届いた時はご本人様にお渡ししたり、職員が読んでさしあげることもあります。また、現在面会が制限されておりますので、ご家族と電話で連絡する際にはできるだけご本人ともお話していただけよう配慮しております。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	清潔で生活しやすい空間を作る為、各居室、共用スペース等掃除の仕方をマニュアルで定め行っています。又、花を飾ったり季節に合わせて装飾を一緒に作ったりして、季節を感じる事が出来るような空間作りに努めています。	居室の入り口には、しめ飾りや、サツマイモのつるで作ったクリスマスリースなどを飾っている。共用部は職員が清掃し、こまめに換気や消毒を実施している。湿度と室温は計器で確認し、加湿器の運転だけで湿度が足りない場合は、濡らしたタオルを干して調整している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご本人の生活の仕方や人間関係を理解し、過ごし方や座席の配置を考え配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にご本人様の思い出の品やご家族の写真等お持ちいただき、ご自分の部屋としてくつろげる空間を作るよう心掛けています。ご仏壇をお持ちになる入居者様もいらっしゃいます。また、レクの時間に自分で作った装飾品を飾ったり、交流のある保育園から頂いた飾りを壁に飾ったりされています。	利用前に自宅や病院、施設に訪問して環境調査を行い、利用後の導線や家具配置の参考にしている。居室内には、家族から贈られた品や、好きな動物の写真を飾り、定期的に室内清掃とシーツ交換を行い快適に過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	入居者様が何をできるか、又は何が出来ないかを職員が把握し手を出し過ぎない介護をするよう心掛けています。そのためにケアプランを作る際担当者はしっかりとアセスメントを行い職員全員が入居者様の現在の状況の把握が出来るよう努めています。		

V アウトカム項目(Aユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念をフロアーに掲示し内容を理解・共有し、支援に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	以前はお祭りに参加したり、保育園に交流に出かけたり保育園から来て頂いたりしていたが、コロナ禍以降直接的な関りは控えている。保育園より敬老の日に利用者様宛にプレゼントが届く等繋がりを持っている。職員は地域の清掃活動等に参加して、挨拶を行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通じて認知症の理解を深め、支援の内容についてお話させて頂き質問にも応じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回の運営推進会議ですが、コロナ禍のため開催できない月に関しては書式にてグループホームでの生活を報告し、事故やヒヤリハットまた、行ったイベント等についてご意見を頂いて、サービスの向上に活かしております。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの職員様に出席をお願いし、開催出来ない回についてはFAXにてやり取りしております。民生委員・町内会役員の方にもご意見を伺っております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を3ヶ月に一回行い、その内容を職員に周知する事と、社内研修を年2回行い理解を深めるよう指導し、身体拘束は行っておりません。玄関の鍵は夜間は防犯の為施錠しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待についても身体拘束と共に理解を深めるよう研修を行っております。市で行われる研修にも参加し内容を職員に周知し、グレーゾーンと思われる不適切ケアについても行わないよう虐待の防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	後見人制度を利用されているご利用者様もいらっしゃる為、後見人の方とご本人の支援に関して相談等行っております。研修の機会を持ち制度について学んでいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時のご利用者様・ご家族様に重要事項説明書の内容について説明させて頂き、ご不明な点等ございましたら質問に応じご理解・納得できるよう努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	現在面会を制限せざるを得ない状況の為ご家族と直接顔を合わせてお話しする機会は減っておりますが、お電話にて話をさせていただき、その際ご要望があれば出来るだけお答えさせていただいております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日常的に発言しやすい環境にあり、申し送り時や会議の折に職員の意見交換を行い、サービスに反映できるようにしております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的な自己目標の設定や自己評価を行い、勤務査定にに繋げております。職場環境についても職員会議等の場で意見を交わし見直しを行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	現在外部研修を受けるのが難しい状況ですが、社内では毎月研修を行い、知識と技術の習得に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修等に参加した折は、同業者と交流を深め、情報や意見の交換を行っております。同一法人の事業所とは交流を持ち、意見の交換を行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	相談や見学に来られた際や、事前面談の折にご本人・ご家族様の不安や要望を伺い、入居後も施設での生活に慣れるまで様子に注意しケアプランに反映させていただいております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面談時に話を伺い、介護の方針について相談の上決めさせていただいております。入居後も変化があればすぐにご連絡させて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族よりしっかり話を伺い、状態を見極め、ニーズを掘り起こしケアの方針を協議の上決めさせて頂いております。ご本人の変化に合わせた柔軟な対応を心がけております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員と一緒に家事をする等、日々の暮らしを通じて一緒に笑いあえる関係を築いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御利用者様に変化があった時はご家族様に連絡を取り、協力を仰ぎ共にご利用者様を支援するよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様・ご家族様の要望をお伺いし、出来るだけ意向に沿えるよう、施設で対応できる事に関しては柔軟な対応をさせて頂いております。手紙のお取次ぎやご家族様からの電話のお取次ぎは行っておりますが、現在面会はコロナ禍の為制限させて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士で良好な関係が作れるよう、色々イベントの企画を立てて、利用者様同士が協力して行ったり、顔なじみになれるよう工夫しております。リビングでの席についても相性等考慮して提供しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後もいつでも相談に応じる事をお伝えし、必要時の相談や支援に努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御利用者様との相性を考慮し担当職員を決めさせて頂き、しっかりと寄り添い、希望や意見を伺える関係づくりに努めております。ご本人が意見を言える状態でない時は表情等から出来るだけ本人の希望を読み取るよう努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面談時に入居以前のご生活についてお伺いし、これまでの経過の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のご本人との関わりの中で、小さな変化にも対応できるよう会議や申し送りを通して職員間での情報共有を行っております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメント時にご本人・ご家族と話をし、意見やご要望を確認し、必要と思われる事はケアプランに反映させていただいております。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や変化等は記録に残し職員間での情報の共有を行い、問題点は話し合い、より良い介護を行うよう努力しております。また、計画の評価・見直しに活かしております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人としっかりコミュニケーションを取り、ご本人のニーズに出来るだけ柔軟に対応するようサービスの提案をさせて頂いております。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍以前はボランティアの受け入れを行ったり、地域のお祭りや運動会等イベントに参加させて頂いていた。現在はご利用者様の安全を第一に考え外部との接触は極力控えさせて頂いております。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前の面談時に医療について話し合い、ご本人様・ご家族様の意向に沿う医療を受けられるよう支援しております。連携している内科の往診、また希望により皮膚科・歯科等の往診を受ける事ができる体制を取っております。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1度訪問看護ステーションより看護師が訪問し、バイタル測定と相談を行い、ご利用者の健康状態の把握に努めております。看護師とよりドクターへの報告連携を行いドクターより指示書が出た場合、週1回に限らず訪問が行われます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはドクターの紹介状と施設より情報提供を行い治療に支障の出る事の無いよう努めております。状況に合わせて病院にも伺わせていただきます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前の事前面談時に重度化への指針や緊急時の体制等についてお話させて頂いております。終末期には再度ご家族様の意向を確認し、意思を尊重し、職員一同で統一した支援を行います。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	年1回は必ず緊急時の対応について研修を行い、事故が起きた時は事故委員会を開き、原因・今後の対応について話し合いを行い、再発の防止に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練を行い、消防署にも依頼し訓練指導を行っております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様への声掛けは尊敬の念を持って対応しています。接遇マナーについての研修を行い、職員同士でも注意しあえる環境を作るようにしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の気持ちを押し付ける事の無いよう注意し、声掛けに気を配りながらご本人様の意向を引き出せるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員のペースではなくその方に寄り添った支援が出来るよう、ご入居者様の希望や思い、その日の体調等を考慮しながら支援するよう心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日に着たい服や髪形などをご本人様に決めて頂き介助が必要な方はその希望に沿って職員が対応しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しく落ち着いて食事がとれるように食事中は音楽をかけたり席の配置を考えたりと環境に気を配っています。片付けなどは台拭き、トレー拭き等、安全に考慮しながら無理のない範囲で職員と一緒にしています。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事はご本人様の状態に合わせて刻みやおかゆなどの食べやすい形態にして提供させていただいております。食事時や10時、3時のお茶の時間以外にも声掛けし出来るだけ水分を摂ってもらえるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを全員行っています。ご本人の状態に合わせて確認、介助をしています。又、必要時は訪問歯科を受けて頂き口腔内の清潔に気を付けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自立での排泄を目指す為、個々の排泄パターンを知り個人に合わせてトイレ誘導の声掛け、対応をしています。排泄介助の後は臭いが残らない様に気を付け、失敗した際も自尊心を傷つけないよう気を付け対応しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	日頃から水分摂取や体操、散歩等身体を動かす時間を作り便秘の予防に努めています。又、個々の排便パターンを理解し、トイレ誘導、腹部マッサージ等行っています。どうしても便秘がちな方は、ドクターに相談し個別に対応させていただきます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本入浴日は設定していますが、順番や時間などなるべくご利用者様の希望に沿って対応しています。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	居室内の温度、明るさ、寝具等環境に気を配っています。夜間良眠出来るよう、日中は体操やゲーム・アカペラ等行い活動的に過ごして頂いております。昼食後には夜間の睡眠に響かない程度にお昼寝の時間を設けて休息の時間を取って頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の処方に変化があった時は職員にも伝えご本人の変化の把握に努めるようにしています。お薬情報もファイルしすぐに確認できるようにしてあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々の関わりの中で、ご利用様が好きな事、出来る事を見つけ、役割を持って生活出来るよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	以前は出来るだけご利用様のご希望に沿えるように短時間であっても外出の機会を設けておりましたが、現在はご利用者様の安全を第一に考え必要な受診以外の外出は控えさせて頂いております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居時に金銭管理についての説明をご本人・ご家族様に行っています。入居者様に合った方法での支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があれば対応しております。家族から手紙が届いた時はご本人様にお渡ししたり、職員が読んでさしあげることもあります。また、現在面会が制限されておりますので、ご家族と電話で連絡する際にはできるだけご本人ともお話していただけよう配慮しております。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	清潔で生活しやすい空間を作る為、各居室、共用スペース等掃除の仕方をマニュアルで定め行っています。又、花を飾ったり季節に合わせて装飾を一緒に作ったりして、季節を感じる事が出来るような空間作りに努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご本人の生活の仕方や人間関係を理解し、過ごし方や座席の配置を考え配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にご本人様の思い出の品やご家族の写真等お持ちいただき、ご自分の部屋としてくつろげる空間を作るよう心掛けています。ご仏壇をお持ちになる入居者様もいらっしゃいます。また、レクの時間に自分で作った装飾品を飾ったり、交流のある保育園から頂いた飾りを壁に飾ったりされています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	入居者様が何をできるか、又は何が出来ないかを職員が把握し手を出し過ぎない介護をするよう心掛けています。そのためにケアプランを作る際担当者はしっかりとアセスメントを行い職員全員が入居者様の現在の状況の把握が出来るよう努めています。		

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム百樹

作成日 令和5年3月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	開催出来なかった時期もあり運営推進会議が活かしきれていない。	令和5年度は運営推進会議を活用し事業所の内容をもっと地域の皆様にも知っていただき色々な意見を求め活用する。	コロナ禍の状況にもよるが、ご利用者やご家族の参加をお願いし、現状を伝えていく。	1年
2	35	防災訓練は行っているが実際に災害が起きた時経験・知識の不足を感じる。	災害時への対策の強化を行う。	事業所のBCP計画をしっかりと構築する。職員への研修と周知を行う。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。